

平成30年度下半期 市の財政状況

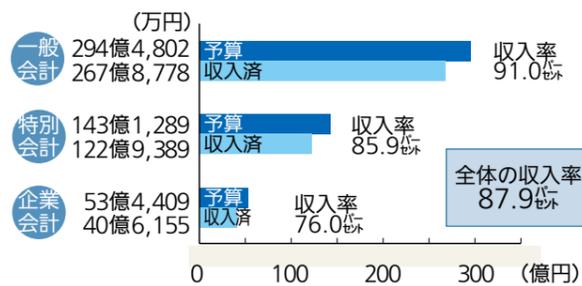
市では、財政状況の公表に関する条例の規定に基づき、定期的に財政状況を公表しています。ここでは、3月31日現在の予算の執行と地方債、基金の状況をお知らせします。 **問い合わせ 財務課 2612111 (内線335)**

一般会計91%を収入済み

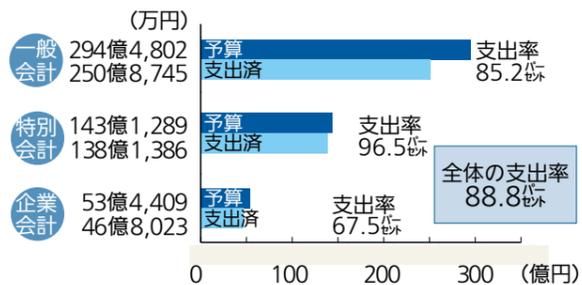
一般会計の収入率は91・0%、支出率は85・2%です。特別会計では収入率85・9%、支出率96・5%です。

一般会計と特別会計の予算

歳入の状況



歳出の状況



年度は4月1日から3月31日までですが、翌年度の5月までを納税期間として前年度中の支払いを整理する期間としています。収入でも国・県の支出金や市債は事業の完了後に収入するため、出納整

市の借金は472億円

市債(市の借金)は、一般会計では借入残高が297億658万円。特別会計と企業会計も合わせると471億9644万円、市民1人当たりでは94万168円です。この借金の返済元利金の一部は地方交付税として国から財政支援を受けられる対象となるため、実際の市の負担は借入残高よりも軽減されます。基金は、一般会計の基金が171億794万円、特別会計の基金が11億1711万円、この他に運用基金と企業会計の基金を合わせると20億3675万円、市民1人当たりでは40万3122円です。

補正予算の主な内容

下半期の補正予算の主なものを紹介します。

一般会計では、小学校空調設備整備事業として12月と3月に合計5億3725万円を増額し、中学校空調設備整備事業として12月と3月に合計3億996万円を増額しました。3月には、将来負担の軽減を図るための市債の繰上償還に5億5525万円を増額しました。

特別会計では、3月に国民健康保険事業特別会計で事業費の精算により3億6996万円を増額しました。また公共下水道事業特別会計では事業費の精算により6800万円を減額し、後期高齢者医療特別会計では事業費の精算により6438万円を減額しました。

詳しくは、市ウェブサイトでも公表しています。平成30年度の決算は、本紙10月号に掲載する予定です。

基金の状況

区分	現在高	市民1人当たり
積立基金	182億2,504万円	36万3,049円
一般会計の基金	171億794万円	34万796円
特別会計の基金	11億1,711万円	2万2,253円
運用基金	13億1,287万円	2万6,153円
企業会計の基金	6億9,883万円	1万3,921円
基金総計	202億3,675万円	40万3,122円

※人口は4月1日現在の50,200人を基準。端数処理のため金額が合わない場合があります

市債の状況

区分	現在高	市民1人当たり
一般会計	297億658万円	59万1,765円
特別会計	74億6,870万円	14万8,778円
企業会計	100億2,116万円	19万9,625円
市債総計	471億9,644万円	94万168円

物知りおじさんのふるさと情報



三郷町郷土史研究会 丸山 省吾さん (三郷町)

三郷町野井分立の穴観音

三郷町野井分立の三十三観音は、穴観音と呼ばれ、県道多治見恵那線大沢バス停留所から東へ500ほど上った竹やぶとヒノキ林の中に祭られています。三十三所観音とは、幕末の時代、庶民の間で行われていた観音信仰です。その場所でお祈りをすれば西国や秩父の巡礼と同じ功德が得られるとして、1866(慶応2)年、激動の幕末に村の安全を願い、地域の観音様を信仰する講の人たちで造立されました。



▲古墳を思わせる石室に鎮座する観音様

古墳を思わせる石室(高さ・間口・奥行き約2m)の中には、馬頭観音や十一面観音、千手観音、聖観音、如意輪観音など7観音が34尊鎮座しています。このような穴観音は市内では見られませんが、隣の大湫町十三峠や日吉町若俣にあり、形態は石窟ですが、同じ様式で祭られています。

当時の野井村は、江戸時代から明治の初めまで、大湫宿の助郷村として、宿場が公用の荷客を運ぶ人馬が不足したときの人馬の出役や食料の調達を任されていました。特に大湫宿とは大変良好な関係

であつたと伝えられています。十三峠の穴観音の造立には野井村からも寄付をしていることや、三郷町野井分立の穴観音の造立時期も皇女和宮が中山道を通した5年後であることから、助郷として尽力したことが大湫宿から認められ、何らかの援助があり造立したと思われませんがそれを裏付ける資料は残っていません。当地では分立の穴観音として親しまれています。毎年4月には心経を唱え、人々の安全をお祈りしています。



今月の表紙

笠置峡にボート・カヌー場がオープン

市笠置峡ボート・カヌー場がオープンしたことを記念して、4月28日、式典が開かれました。風が無く水面が穏やかで、連続7kmの距離をこげるなど、ボート競技にとって好条件がそろっている笠置峡。この日は、オリンピック事前キャンプ地の視察を兼ね来日していた香港ボートナショナルチームと、明治安田生命ボート部も参加。両チームの選手らは、水の感触を確かめながら、合同練習に励んでいました。

数字で見る 恵那市

人口 (5月1日現在)

総数	50,206人 (+6)
男	24,438人 (+9)
女	25,768人 (-3)
世帯	19,912世帯 (+53)

()内は前月との比較

人口動態 (4月異動)

出生	15人
死亡	75人 (-60人)
1月からの自然増減	-193人
転入	198人 (+66人)
転出	132人 (-64人)
1月からの社会増減	-64人

救急車出動回数 (4月)

203回 (907回)
()内は1月からの累計

交通事故 (4月中の概数)

人身事故	0件 (16件)
物損事故	103件 (425件)
負傷者	0人 (26人)
死者	0人 (2人)

()内は1月からの累計

火災 (4月)

建物	2件 (7件)
その他	2件 (9件)

()内は1月からの累計

広報えな6月号 目次

- 3 **特集** 平成30年度下半期 市の財政状況
- 4 **特集** まきがね公園体育館と健康体力センターがリニューアル
- 8 注目情報
- 10 お知らせ
- 16 みんなの掲示板・おくやみ
- 18 健康ガイド
- 19 子育て支援イベント・相談
- 20 地域情報トピックス
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学
- ビジネスサポートセンター
- 23 健幸レシピ・男女共同参画
- 24 出生・1歳になりました 園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 28 市職員募集

◀市ウェブサイト
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。

◀市メール配信サービス
防災や観光などの情報を電子メールで配信しています。

電子メールの登録は無料ですが、接続料や通信料は利用者負担となります。ウェブサイトの閲覧は無料ですが、接続料などは同様です。